

11/19 学校教育の発展に功績

元教育長の日吉純夫氏が瑞宝双光章を受章



受章を報告した日吉氏（左）

教育功労者として瑞宝双光章を受章された元教育長の日吉純夫氏（赤水）が、佐藤市長に受章を報告しました。

日吉氏は、昭和33年の初任から平成10年の阿蘇町立阿蘇北中学校を最後に定年退職するまで教職40年間、学校教育に尽力し、専門教科の理科教育や生徒指導、バレーボールの指導に功績を残されました。また、教育行政にも力を注ぎ、校長就任後は県中学校長会を務めるなど、県全体へ指導力を発揮されました。

これら多くの功績が評価され、今回の受章となりました。

11/19 租税教育の活動を評価

阿蘇法人会青年部会が租税教育活動で全国2位



成績を報告した阿蘇法人会青年部会の皆さん

租税教育活動を発表する全国法人会の全国大会が11月8～9日に岐阜県で開かれ、準優勝に輝いた阿蘇法人会青年部会（杉本素一部会長が、佐藤市長に成績を報告しました。

大会では、同部会が実施してきた「租税キャンプ」の活動を紹介。子どもたちに税の大切さを伝えるため、クイズやお菓子をを使って申告と納税を体験してもらうなど、工夫を凝らした取り組みを発表しました。

同部会による税知識の啓発活動が評価され、全国選抜12団体の中で見事2位を獲得しました。

11/23 楽しんで草原を学ぶ

ASO 草原フェスティバル2018



ススキを使ってミニハウキづくりにチャレンジ

草原保全活動センターでASO草原フェスティバル2018が開かれ、多くの親子連れでにぎわいました。

草原についてよく知ってもらおうと昨年から始まったこのイベントでは、ススキやとうもろこし、火山灰などを使ったクラフト体験や草原散策・草小積みのツアー、ジェットシューターを使った的あてなど、草原に関するたくさんの体験プログラムが催されました。会場では地元でとれた野菜やご当地グルメの販売も行われ、子どもから大人まで楽しみました。

11/22 人権意識の高揚を目指す

2018 人権フェスティバル開催



村上美香さんが「生きやすい世の中」について講演

2018阿蘇市人権フェスティバルが阿蘇体育館で開かれ、約330人が来場しました。

12月4日～10日の人権週間に合わせて毎年開かれているもので、記念講演や人権劇などのステージ発表のほか、人権絵画やポスター、標語などの展示、障がい者就労支援施設などによる物品販売が行われました。

講演会では、テレビなどで活躍する村上美香さんが、熊本地震の経験から「二日一日を大切に過ごしてほしい」と命の大切さについて訴えました。



11/24

ストップ！不法投棄

阿蘇中部建設振興会が不法投棄ごみを撤去



急斜面の不法投棄を引き上げる建設振興会の会員ら

阿蘇市と産山村の建設業の若手経営者で構成する阿蘇中部建設振興会（佐藤博文会長、会員19社）が中通の原野に不法投棄されたごみや家電製品などの撤去作業を行いました。

同会は地域貢献活動の一環として、日頃の作業経験を活かし、危険な不法投棄ごみの撤去をボランティアで実施しています。12回目の作業となる今回は、同会員のほか、中通財産区管理会など約25名が参加。急斜面の山林に散乱していた可燃ごみ560㌔、不燃ごみ620㌔を撤去しました。

11/24

音楽で地域を元気に♪

狩尾の音楽イベント Aso Active Fault LIVE 開催



会場を盛り上げる的の石オールディーズ

熊本地震で大規模な山崩れが起きた狩尾地区を元気にしよう、地元有志（佐藤健介代表）が企画するコンサート「ASO アクティブ・ファルト・ライブ」が阿蘇西小学校（尾ヶ石校舎）体育館で開かれ、来場者約300人が音楽を楽しみました。

今回で3回目を迎えるこのイベントには、趣味で音楽を行っている地元住民や当地区とつながりのある市外の音楽グループなど11団体が出演。出演者は、日頃練習してきた歌や演奏を披露し、来場者と一緒になって盛り上がりました。

11/28

永年の消防活動に功績

市原英一氏が瑞宝単光章を受章



受章を報告した市原英一氏（左）

34年余の永きにわたる消防団活動に功績があったとして、瑞宝単光章を受章された市原英一氏（坂の上）が、佐藤市長に受章を報告しました。

市原氏は、昭和48年4月に旧波野村消防団に入団し、平成19年3月に副団長を最後に退団。建物火災をはじめとする各種災害に際しては、率先して消防団活動に尽力し、市民の生命・財産を守って被害を最小限度に食い止めました。また、若い消防団員の育成や女性消防隊の結成など、阿蘇市消防団の基礎を築く行動などが高く評価されました。

11/27

道路と河川を美しく

道路河川環境美化コンクール表彰式



表彰を受けるおごもり花公園の菅代表

平成30年度道路河川環境美化コンクールの表彰式が市役所で開かれ、参加した19団体の中から、手野地区の「おごもり花公園」（菅昇代表）が2年連続で最優秀賞に選ばれました。

受賞した菅氏は、「美化活動は地域で楽しむ事が大事。この取り組みが広がってほしい」と期待を述べました。

●その他の受賞団体

【優秀賞】▽和みの花みち会
▽いこいの村通り花の会
【佳作】▽四ツ江川ホテルの会
▽上西黒川区▽内牧花原川を守る会▽うぶさん会▽大道花クラブ

12/4

優秀な工事施工に功績

山本勝一氏に優秀施工者として顕彰



受賞を報告した山本勝一氏（左）

建設事業の技術・技能の向上に努め、国土交通大臣から優秀施工者として顕彰を受けた山本勝一氏（黒川千丁）が佐藤市長に受賞を報告しました。

山本氏は、優秀な技能労働者として活動されているほか、後継者を育成する技術講師としても活躍されています。工事施工に必要な優れた技能や、地域への貢献活動などが評価され今回の受賞となりました。

山本氏は、受賞によって自身自身の襟を正すことにも繋がると受賞の重みと、さらなる意欲を語りました。

11/29

噴火に備えて連携確認

5年ぶりに阿蘇火山防災訓練実施



中岳火口の噴火を想定し、負傷者を搬送する救急隊員

阿蘇中岳火口の噴火を想定して、各関係機関の行動と連携を訓練する阿蘇火山防災訓練が阿蘇山上一帯で実施されました。

火山活動が活発になって以来5年ぶりとなる本訓練は、市や近隣町村のほか、自衛隊や消防、警察、医師会、日赤など37団体、約250人が参加し、大規模に行われました。

訓練では、噴火警戒レベル引き上げに伴う情報伝達や、噴火によって負傷した観光客の救助、応急処置や病院への搬送など、救出・救護の一連の流れを確認しました。

12/4

環境保全活動に献身

湯浅陸雄氏が緑綬褒章を受章



受賞を報告した湯浅陸雄氏（右）

環境保全活動に功績があったとして、緑綬褒章を受章された湯浅陸雄氏（内牧1区）が、佐藤市長に受章を報告しました。

湯浅氏は、自身が会長を務める「阿蘇ホテルの会」で環境美化活動やホタルの生態調査を40年にわたり継続しています。所属する「内牧花原川を守る会」では、河川沿いの清掃や植樹などを行い、地域の環境整備に大きく貢献しています。そのほか自然環境保全を軸に幅広い分野で活躍し、これまで永年継続してきた多大な功績が評価され今回の受章となりました。

12/4

種馬の部で県一位

山内幸一氏が県畜産共進会グランドチャンピオン



山内幸一氏（中央）と長男の一輝氏（右）

県内の優秀な牛馬を表彰する第41回熊本県畜産共進会が県家畜市場で開かれ、種馬の部でグランドチャンピオンに輝いた山内幸一氏（竹原）が、佐藤市長に成績を報告しました。

山内氏は、長男の一輝氏と農業経営を行っており、近年、県内でも供給が少ない馬の飼育にも着手。平成29年度は阿蘇地域畜産共進会でも育成馬の部の首席を獲得されています。

山内さんは、「今回の受賞を機に、現在飼育している馬を繁殖し増頭したい」と今後の抱負を語りました。